



平成21年9月1日発行

こんちわ奥さん



大丸エナウイン株式会社

「こんにちわ奥さん」係

〒559-0022

大阪市住之江区緑木1-4-39

TEL.06(6685)5101

ダイヤル 0120-093-025

http://www.gas-daimaru.co.jp

「こんにちわ奥さん」係から

ハング・グライダーはスカイスポーツの一種です。搭乗者がベルトで吊り下がる(ハング)形で空を滑空(グライド)することから、こう呼ばれます。英語の発音に近いハング・ライダーという表記もありますが、これだと「つり下がる搭乗者」と誤解されてしまいます。

機体の重心付近に繋がれた搭乗者は、機体を持ち上げたまま斜面を駆け下り離陸、上昇気流を利用しながら飛行を楽しみ、山の麓に着陸します。

起源を歴史的に見ると、19世紀末に登場したグライダーがその一種ですが、直接には1949年にフランス・ロガロが現在のハング・グライダー形状の翼を発明しました。現在のようなハング・グライダーが登場したのは71年でした。続きは「ぼっ百科」の異説で。



鳥人・幸吉 飛行の原理

ハング・グライダーの発明者であり、世界初の滑空飛行に成功したのは日本人かもしれないという話です。

江戸時代中期の18世紀半ば、備前の国に、鳥のように空を飛ぶことを夢見た男がいました。名は浮田幸吉。鳥に興味を持ち研究、人間も飛べるはずだと確信しました。表具師だった幸吉は、竹を骨組みに紙や布で翼を製作、最初は「羽ばたく」ことを考えたようですが、当然、失敗だったでしょう。「滑空」に方針を変更し1785年、翼をつけ橋の欄干から飛び立ちました。しばらく滑空したとも、すぐに落下したとも伝えられます。

この時代、幸吉のような行為は御法度で、目撃者が騒ぎ、すぐ岡山藩士に取り押さえられました。所払いとなったとも幕府が打ち首にしたとも言われます。晩年、駿府でも飛んで見せ、この時、死罪になったとも、平穏な余生を送ったとも伝えられます。以上が「鳥人・幸吉」のあやふやな伝記です。

幸吉は滑空に成功したのでしょうか。ハング・グライダーに近いものは製作できたのではと推測され、成功していたとすれば、これが世界初の滑空飛行となります。

ところで、現代の科学をもってしても飛行機の飛ぶ原理が解明されていないことを、ご存知でしょうか。一般に流布している説明はベルヌーイの定理を使った「まやかし」です。ベルヌーイの定理は、簡単にいえば、空気(流体)が早く流れると、その部分の圧力が下がるというものです。テレビなどで紹介される一般向け理論では、翼の断面図を使って説明されますが、強引に同定理で説明しているだけです。最新の航空力学は、飛行機が飛ぶ原理を「渦理論」で説明しますが、これとても完全ではないらしいのです。

奥さん、大丸エナウインの株主になりませんか!

第1四半期(平成22年3月期)連結決算ハイライト

	平成21年3月期 (平成20年4~6月)	平成22年3月期 (平成21年4~6月)	前年同期比
売上高	4,734百万円	3,213百万円	32.1%減
経常利益	265百万円	250百万円	5.9%減
四半期純利益	120百万円	132百万円	10.3%増
1株当たり純利益	14.96円	16.50円	10.3%増

当第1四半期は、LPガス仕入単価の大幅な下落に伴う販売価格の減少が影響し減収となりましたが、販売価格の仕入価格運動性を徹底したことなどにより、純利益は増益となりました。

当社では、個人投資家向けに会社説明会を実施しております。本年7月に実施した内容をホームページに掲載しております。



〈株価指標〉

直近株価 560円(平成21年8月4日東証終値)
予想利回り 1.9%(配当11円、株価560円と仮定)

〈基本データ〉

(売買単位)100株 (上場市場)東証2部、大証2部
(証券コード)9818(株式の銘柄ごとに割当された番号)

↑証券会社へ売買注文する時や株価検索する時などに便利

(新聞株価欄の業種) 商業
(配当状況)1株当たり)
平成21年3月期配当実績 11円(うち、中間配当5.5円)
平成22年3月期配当予定 11円(うち、中間配当5.5円)
(株主優待制度)
毎年3月31日現在の株主様へ下記の基準で贈呈
100株以上1,000株未満ご所有…図書カード1枚(500円相当)
1,000株以上ご所有……………3,500円程度の選択型ギフト券

大丸エナウインの株式に関するお問い合わせ先…総務部 株式課